

第1回在宅医療・介護スクラム塾（多職種連携研修会）オンライン

講演：『がん終末期療養者の気持ちの辛さを考える』

講師：訪問看護ステーションはえばる 緩和ケア認定看護師 城間 忍 氏

○日 時：令和5年5月18日（木） 午後7時00分～8時30分

○場 所：Zoomを使用してのオンライン研修会

○参加者：47名

（医師7名、歯科医師1名、看護師8名、薬剤師4名、栄養士3名、リハビリ4名、MSW3名、ケアマネジャー・ケアプランナー8名、その他9名）

【目的】①那覇市における在宅医療を推進し、切れ目ない提供体制を構築するため、在宅医療に必要な基本知識を体系的に学ぶ。

②各職能団体と連携することにより多職種チームビルディングの促進を図る。

③在宅実地研修（訪問診療同行）を組み合わせることにより、在宅医療の実際について学び、連携を強化する。

④感染対策のため、オンラインにて研修会を実施する。より多くの専門職に学んでいたくために事後配信も行う。

【対象】医療・介護関係者

【方法】Zoomでの研修会、グループワーク（事例検討 ⇒ 多職種それぞれの視点から意見交換）

【結果】アンケートを参照下さい。

【考察】参加者は看護師が最も多く約20%、次いでケアマネジャーが約17%であった。参加者より、「介入方法に正解はなく、その時、その瞬間に療養者と支援者と家族との対話で物事を決めていく重要性を学べた」、「専門的な助言だけでなく、療養者がどのような人生を歩んで来られたのか傾聴することの大切さも学んだ」、「これから勉強して在宅医療に関わっていきたい」という感想もあり、スクラム塾を開催する意義を改めて感じることができた。



講師：城間 忍 氏



全過程修了マイスター授賞者
(10人目)

久田 友治 様

おめでとうございます!!



司会：長嶺 勝 氏



会場風景



令和5年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業
第1回 在宅医療・介護スクラム塾 『訪問看護』 アンケート結果

日 時：令和5年5月18日（木） 19:00～20:30

場 所：Zoomによるオンライン研修会

講 師：訪問看護ステーションはえばる 緩和ケア認定看護師 管理者 城間 忍 氏

参加者：47名（医師7名、歯科医師1名、看護師8名、薬剤師4名、栄養士3名、リハビリ4名、MSW3名、ケアマネジャー・プランナー8名、その他9名）

アンケート回答者：18名

1. 経験年数について

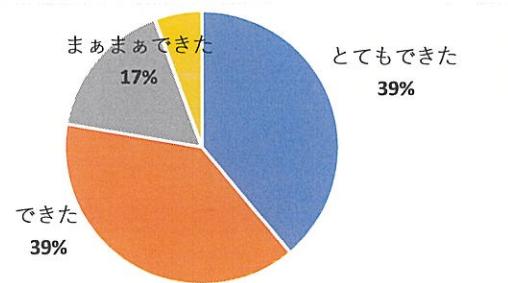
経験年数	人数	割合
1年未満	0	0%
1～5年未満	2	11%
6～10年未満	3	17%
11～20年未満	10	56%
21～30年未満	3	17%
31年以上	0	0%
総計	18	100%

2. 職種の内訳

職種	人数	割合
医師	1	6%
歯科医師	0	0%
看護師	2	11%
保健師	0	0%
薬剤師	3	17%
栄養士	1	6%
MSW	2	11%
ケアマネジャー・ケアプランナー	5	28%
リハビリ	2	11%
社会福祉士	0	0%
介護職（ヘルパー等）	2	11%
歯科衛生士	0	0%
その他	0	0%
総計	18	100%

3. 領域別セッション「訪問看護」について理解できましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	7	39%
できた	7	39%
まあまあできた	3	17%
できなかった	1	6%
総計	18	100%

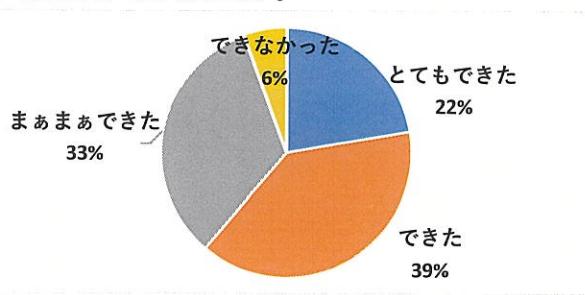


4. 演題：『訪問看護』（講師：城間 忍氏）について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

- ・悩みながらの介入例を紹介いただき、とても参考になり心に残る講演でした。
- ・いろいろなことを検討するにあたって参考になる症例でした。ありがとうございました。
- ・考えさせられながらディスカッションできました。
- ・介入方法に正解はなく、その時、その瞬間に「療養者」と「支援者」と「家族」とで対話で物事を決めていくことの重要性を、事例とグループワークで学ぶことができました。発表で見えたことは「コロナ禍で対面禁止」、「医療機関と在宅機関との顔の見える連携の激減」、「患者さんとご家族と医療者の入院中の関わりの激減」でした。色々と工夫して介入となります。結果的には多職種介入が「最大のストレス発散」と「望む最後を迎える」支援のような気がしました。事例提供ありがとうございました。
- ・本人、家族の気持ちを吐き出せることはとても難しいことだと思います。家族、友人等、専門職以外の関わりがとても大切だと思います。お疲れさまでした。
- ・個々の患者さんのその時々の心身の状態、患者さんの性格などもあり、明確な正解！ではなく、事例や経験で勉強させてもらいながら、その時々で感じて考えて行くことが難しいなと痛感しました。
- ・実際に体験したことがない状況を考察するので、様々な職種の方の立場から意見が聞けて大変勉強になった。
- ・普段薬剤師として在宅訪問を実施したとしても、終末期の方に関わることが少ないとため、患者様の気持ちの辛さについてしっかり考えることができ、非常に参考になりました。また、看護師さんの講義を聞いたのが初めてだったので、いつもと異なる視点でお話を聞けたので良い勉強となりました。
- ・わかりやすくて見やすいスライドでした。
- ・すごく難しい問題だと感じました。グループワークでの皆さんの意見を聞いてると多職種連携がいかに大切かを感じ、自分の未熟さに恥ずかしくなりました。勉強し在宅医療へ関わっていきたいです。
- ・終末期の経験なく、初めての参加でした。もっとたくさんの事例を聞いてみたいと感じました。
- ・とても考えさせられる事例でした。貴重な事例・支援を聞くことができて学びを得ました。ありがとうございました。
- ・看取りに立ち会う事は本当に難しいと思います。ただ、色々な職種のチームで関わる事で、看取りの患者様と家族の不安を解消できるのではと感じました。
- ・本人の不安や、死の恐怖を受け入れるといった事はとても難しく受け入れられない、希望を見つけたいといった気持ちが強いのではと思います。どういうふうに希望を叶え、不安や恐怖を取り除くのか？穏やかに終末期を迎える環境作りは医療、福祉の従事者だけでは難しいかなと思いました。1番身近な家族がどれだけ本人を理解できるのか？病気の理解をするのか？本人の希望をかなえるためには何が必要か？人それぞれで対応もいろいろあるかなと思いました。今回の事例では関わる関係者が少なく医師や看護師がかなり負担になったのでは無いかな？と。もし、在宅で看取りが必要な場合はケアマネや介護事業所にも声をかけてもらい一緒に考えていきたいと思うので、介護保険の申請や在宅サービスなどのことでも、気軽に声をかけていただきたいです。

5. グループワークでは、ご自身の意見を遠慮なく発言することができましたか。

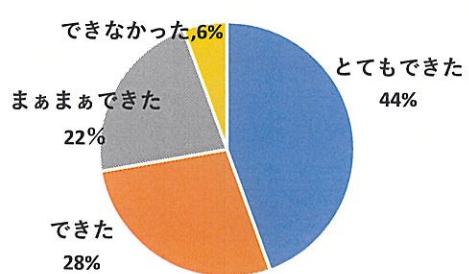
選択肢	人数	割合
とてもできた	4	22%
できた	7	39%
まあまあできた	6	33%
できなかった	1	6%
総計	18	100%



令和5年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業
第1回 在宅医療・介護スクラム塾 『訪問看護』 アンケート結果

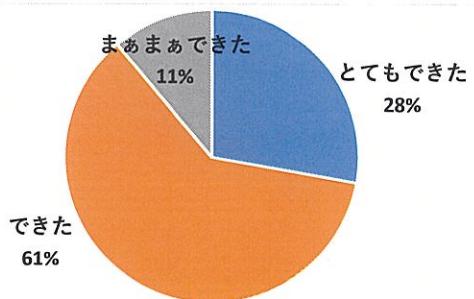
6. 在宅医療・介護の視点について学ぶことができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	8	44%
できた	5	28%
まあまあできた	4	22%
できなかった	1	6%
総計	18	100%



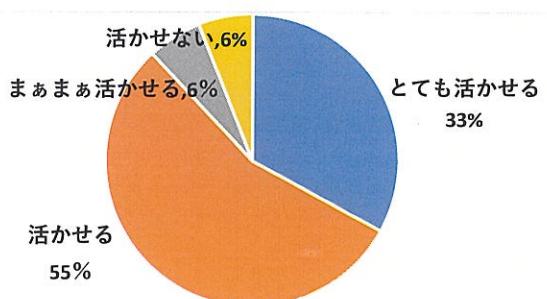
7. 多職種の状況を理解することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	5	28%
できた	11	61%
まあまあできた	2	11%
できなかった	0	0%
総計	18	100%



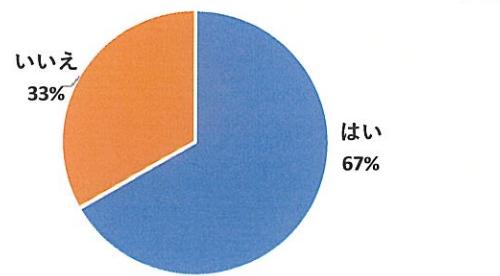
8. 明日からの業務に活かせますか。

選択肢	人数	割合
とても活かせる	6	33%
活かせる	10	55%
まあまあ活かせる	1	6%
活かせない	1	6%
総計	18	100%



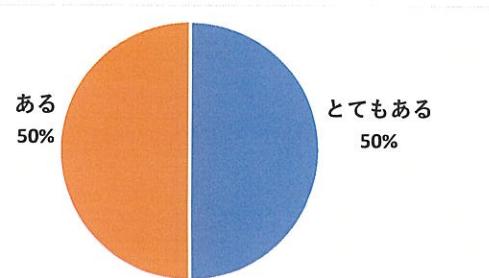
9. 現在、在宅医療・介護に従事していますか。

選択肢	人数	割合
はい	12	67%
いいえ	6	33%
総計	18	100%



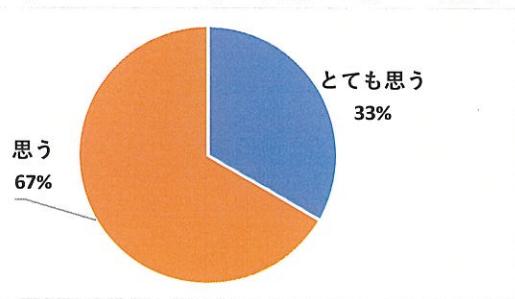
10. 在宅医療・介護に関心がありますか。 (問9で「いいえ」と回答した方への質問)

選択肢	人数	割合
とてもある	3	50%
ある	3	50%
まあまあある	0	0%
ない	0	0%
総計	6	100%



1 1. 今後、在宅医療・介護に関わってみたいと思いますか。 (問9で「いいえ」と回答した方への質問)

選択肢	人数	割合
とても思う	2	33%
思う	4	67%
まあまあ思う	0	0%
思わない	0	0%
総計	6	100%



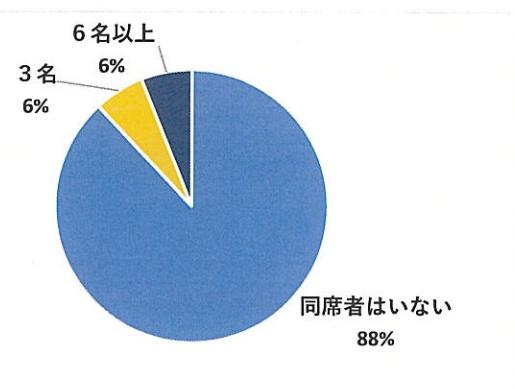
1 2. 今回の在宅医療・介護スクラム塾の全体を通して、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・自分の提供しているつもりの医療についていろいろ反省する良い機会になりました。ありがとうございました。
- ・グループワーク直前からの参加となり事例も全く聞けず、グループワークをスタートする人がいなかったので司会進行をしましたが、検討項目があるのも分からず迷惑を掛けたかも知れません。グループワークをする際にはできればファシリテーターの方が良いと思います。
- ・毎回多職種の方がいるので、色々な話や意見が聞けることがとても学びになります。
- ・他職種の関わりを学べる良い機会になりました。
- ・一人のヒトを支える専門職および専門の方は、たくさんいるのだと感じました。
- ・普段あまり接すことのない専門職の方の話も聞くことができる貴重な時間だと感じています。様々な職種の方と私自身も、利用者さんやそのご家族も支えていただくと知識も精神的にも負担が軽減し心強くなると思いました。勤務後で参加しやすさがある反面、遅くまでなので職場や身近な周囲の参加者を増やせないのが残念です。この研修の内容は興味を持ちやすく勉強になることが多いです。
- ・参加したのが初めてだったので、グループワークに振り分けられたときに、進め方がよくわからず戸惑ってしまった。司会役があらかじめ指名されいたら、スムーズにグループワークに取り組めたかもしれない。
- ・職種が違うと事例を見る視点の意見をもらうことで次のケアに活かすことができると学びました。退院前から他職種の関わりの大切さを学びました。専門職だけではなく、その方がどんな人生を歩んできたのか聞くことの大切さをグループの方から教わりました。ありがとうございました。
- ・在宅分野は今後の日本において重要な課題位置付けだと思います。そんな中で、このような講習会の機会を頂けたこと、ありがとうございました。
- ・貴重な勉強会に参加させていただきありがとうございました。在宅医療へ興味があり参加しましたが、みんなの意見に圧倒され、すごく勉強になりました。
- ・今回、ケアマネを6年振りに復帰しまして、ディスカッション自体とても勉強不足で、発言できず同じグループの方に申し訳ない気持ちでいました。でも、他職種で話し合う場を設けてもらいとても勉強になりました。ありがとうございました。

令和5年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業
第1回 在宅医療・介護スクラム塾 『訪問看護』 アンケート結果

13. 受講時、同席者は何名いらっしゃいましたか。

選択肢	人数	割合
同席者はいない	16	88%
1名	0	0%
2名	0	0%
3名	1	6%
4名	0	0%
5名	0	0%
6名以上	1	6%
総計	18	100%



14. 同席者の職種について教えてください。（問13で同席者の数を回答した方への質問）

職種	人数	割合
医師	1	11%
歯科医師	0	0%
看護師	2	22.5%
保健師	0	0%
薬剤師	0	0%
栄養士	1	11%
MSW	1	11%
ケアマネジャー・ケアプランナー	2	22.5%
リハビリ	1	11%
社会福祉士	0	0%
介護職（ヘルパー等）	1	11%
歯科衛生士	0	0%
その他	0	0%
総計	9	100%